

## 平成30年6月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	平成30年6月25日(月) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第1委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
事務局出席職員	教育部長	吉田	幸司
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	図書館長	千葉	玲子
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	中村	雅臣
	教育指導課長	西山	康巳
	社会教育課長	工藤	浩範
	総合教育センター所長	本間	孝浩
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	学校教育課参事	大坂	吉弘
	社会教育課参事	館合	裕之
	是川縄文館参事	小保内	裕之
	図書館副館長	掛端	真裕美

## 開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、平成30年6月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等についてご報告いたします。

### 主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第28号「八戸市学校給食審議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

### 議案第28号 八戸市学校給食審議会委員の委嘱について

(中村 学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

それでは、議案第28号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第28号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第29号「八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。

### 議案第29号 八戸市史跡根城跡整備活用検討委員会委員の委嘱について

(古里 博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

(伊藤教育長)

それでは、議案第 29 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第 29 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 30 号「八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いします。

**議案第 30 号 八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について**

(中村 学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

(伊藤教育長)

それでは、議案第 30 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第 30 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 31 号「平成 31 年度使用小学校用教科用図書「特別の教科 道徳」の採択について」及び、議案第 32 号「平成 31 年度使用中学校用教科用図書の採択について」事務局からの説明をお願いします。

**議案第 31 号 平成 31 年度使用小学校用教科用図書「特別の教科 道徳」の採択について**

**議案第 32 号 平成 31 年度使用中学校用教科用図書の採択について**

(西山 教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

(伊藤教育長)

それでは、議案第 31 号及び議案第 32 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第31号及び議案第32号を原案のとおり決定いたします。  
次に、議案第33号「八戸市文化財指定に関する諮問について」事務局からの説明をお願いします。

### 議案第33号 八戸市文化財指定に関する諮問について

(工藤 社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(武輪委員)

2点質問します。

1点目は、八戸市内で唯一「おしまこ節」を伝承しているとのことですが、他の地方でも「おしまこ節」が踊られているのでしょうか。

2点目は、「八太郎おしまこ」が八戸市内では、いつ頃からどのような形で踊られるようになったかをお聞きしたいと思っております。

(工藤 社会教育課長)

1点目の質問について、かつては三八上北、下北地方全域でしたが、現在は八太郎、白銀、下北地方のみで踊られており、市内では八太郎と白銀地区の2つとなっております。

民俗文化財の伝承にあたりまして「おしまこ節」に関しては、文化財指定するポイントとして、まず1つ目として「楽器を使っていないこと」、2つ目として「七七五調の歌が伝承されていること」、3つ目として「踊りが伝承されていること」、のポイントがあると考えてございます。白銀の「おしまこ」につきましては、当課職員が調査しましたところ、歌を歌える人がいなくなっているもので、過去に録音された歌を音源として踊りを舞っていること、もう1点として、昭和30年頃に太鼓を導入しているということが判明してございますので、今回は「八太郎おしまこ節」のみの指定になってございます。

2点目の質問についてですが、いつ頃からは現在のところ不明でございます。

(武輪委員)

ありがとうございました。

(伊藤教育長)

そのほか、なにかございますか。

(油川委員)

八太郎地域の児童生徒の皆さんにこの伝統はどのような形で伝えているか、もしくは、伝えていないのであればこれを機会にどのような形で伝えていくかご予定などあればお聞きします。

(渡 社会教育課副参事)

児童生徒に対する継承活動について、八太郎おしまこ保存会では、子どもたちへの指導を長年しておりますが、学校単位ではないのですが、保存会に参加して指導をしていると伺っております。今後も同じように保存会に子供たちが参加していただいで、活動が続けられることが期待できます。長年こういった形で後継者の養成がされておりますので今後も八太郎おしまこ保存会で同じように活動が保持されると考えております。

(油川委員)

ありがとうございます。これを機会に継承するための活動をまた強化、活発にさせていただけたらと思います。

(伊藤教育長)

そのほか、なにかございますか。

(大庭委員)

2点ほど参考までにお伺いします。

1点目は、油川委員さんと重なるのですが、資料のなかに「保存会による普及活動により、町内外の様々な世代の人が八太郎おしまこを踊ることができ、今後も同程度の活動が期待できる。」と記載されております。現在この保存会は人数等、どれくらいの規模で活動されているのかお聞きしたいと思います。

2点目は、ナニヤドヤラから派生したものと考えられるとのことですが、なにか根拠があるのでしょうか。

(渡 社会教育課副参事)

1点目の八太郎おしまこ保存会の人数ですけれども、平成29年度現在で35名となっております。

2点目のナニヤドヤラから派生した根拠について、書物で残っているものはございませんが、おしまこ節、歌いかた、踊りかたなど、総合的に考えまして、ナニヤドヤラの系統をひくものだという事が言われております。以上です。

(大庭委員)

はい、分かりました。ありがとうございます。

(伊藤教育長)

そのほか、なにかありませんか。

[なし]

それでは、議案第33号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第33号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。

はじめに、「平成30年6月八戸市議会定例会一般質問事項について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたらお願いします。

### 【平成30年6月八戸市議会定例会一般質問事項について（質疑応答）】

（築瀬委員）

1 ページから3 ページにある旧柏崎小学校について3 点述べたいと思います。

1 点目は、1 ページに地域への周知ということについて答弁がありますが、これまでも丁寧な説明がなされてきたと思っていますので、今後とも丁寧な説明をしていただければと思います。また、先日新聞でも報道されましたけれども、旧柏崎小学校校舎とのお別れ見学会ということで市教委の配慮によって開催許可をいただいて、たくさんの思いを持った方々が参加して、それぞれの思いをお互いにつなぐことができた行事になったなど実感しております。関係者として、また地域住民、市民としてもとても良かったとお礼を申し上げます。

2 点目は、2 ページに再質問で、新校舎移転後、なぜすぐに旧校舎解体に着手しなかったのかとあるのですが、答弁にありますように、一部耐震性のある校舎を活用できないかと議論もあったと述べられていますが、住民等の意見を聞いてきていただいたということでは感謝しておりますが、危険校舎なので解体すべきだという意見もあったということも事実です。様々な思いを地域が抱えているということをこれからも配慮していただいて対応していただければありがたいと思います。

最後に3 ページにはアスベスト対策について記載してはありますが、全国的にも課題になり得る問題ですので慎重に対応を行っていただければありがたいなと思っています。

以上3 点、感謝と要望になりましたけれども、終わります。

（伊藤教育長）

ありがとうございました。そのほか、ご質問ございませんか。

（武輪委員）

3 点あるのですが、まずはスピードスケートについて少しお話させていただきたいと思います。

17 ページに関しては、スピードスケート指導者の育成ということで上げられておりますが、子どもたちが氷都八戸としてスケートを履いてリンクの上で滑る場合に、いきなりスピードスケートの靴を履いて滑るということは多分少なく、フィギュアまたはホッケーから始めていくのではないかと思います。スケートにまずは親しむ、スケートを滑るところからすると、いま申し上げた種類から始めると思います。そこから興味を持った子が速く走ろうということでスピードスケートに移るのではないかなと思いますが、東北フリーブレイズの方々による指導というの、ホッケーの選手がスケートに親しむということで指導してくださっているのではないかと思いますので、スピードスケートの指導者の育成やスピードスケートに特化して話を進める場合に、子供たちが最初に慣れ親しんだ靴からその次のスピードスケートに移るところの部分に関しても、なにか手立てを打っていかないとこれから先、新しい屋内スケートリンクが完成するときにスピードスケートの人口というところが難しくなってくるのではないかと。選手の育成や

スピードスケートということに関してはその次のところにも目を向けていかなければいけないかなと思っております。スピードスケートに関しては以上です。

(中村 学校教育課長)

お話をいただきありがとうございます。武輪委員さんがおっしゃるとおり、現在小学校のスケート教室は、「氷の上に立つ」、「スケートに親しむ」ことが大きな狙いになっていまして、競技に参加するところまではなかなかいけない状況です。また、子ども達は自分のスケート靴を持っている子はほとんどいないのが現状でございまして、それぞれのスケート場でフィギュアやホッケー等のスケートを借りて行っています。学校のスケート教室で子ども達が興味を持って保護者と話をし、自分のスケート靴を購入する子どももいますし、スケート協会等で行っているスケート教室に参加してスピードスケートの練習に励んでいく子ども達も興味を沸かせて始める子が、若干名いるという状況でございます。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。武輪委員さん、スピードスケートについてよろしいですか。

(武輪委員)

はい。ありがとうございます。

続けてよろしいですか。

(伊藤教育長)

はい、お願いします。

(武輪委員)

それでは10ページに入りたいと思います。「子どもの防犯対策について」、「学校での地域安全マップの作成及び活用状況について」ですが、改めて、地域安全マップの作成活用ということが重要だなと感じました。6月の大阪府北部の地震によってブロック塀が倒壊し、小学校4年生の女の子が犠牲になった本当に痛ましい悲しい事案が起きたことも含めて、防災教育の一つとして、安全マップの作成・活用も再確認・再認識してほしいなと思っております。答弁のなかに、「危険箇所の意識の高揚を図るために活用」、そして「検証や見直しを行っている学校もある」とありましたが、繰り返し継続して進めていただきたいと思っております。今日午前中、学校訪問させていただいた学校では、4年生の子どもたちが総合学習の時間に毎年、地域の方々やPTAの方々と一緒になって地域安全マップ作りをしているとのことでした。そして完成したものは全校児童に向けて発表し、学校全体で意識を持つようにしているとお話がありましたので、毎年確認をする、防犯について意識していくことが大事ではないかなと思っておりますので、防災ノートとも関連しながらお願いしたいと思っております。

(柳谷 教育指導課副参事)

教育指導課の柳谷です。よろしく申し上げます。

地域安全マップにつきましては、全ての小学校で作成しています。

ただ、毎年作成しているところばかりではないということなのですが、マップの内容につきましては全校で確認出来るように工夫しているところがほとんどです。また、今回の地震に際して、学校によっては防災ノートにブロック塀についての注意喚起の部分がございますので、その部分を保護者向けのプリントに刷って配布して注意喚起しているところもございます。

あとは、ほとんどの学校において通学路の危険箇所の確認・安全点検を行っており、場合によっては地域学校連携協議会等、地域の方やPTAの方の協力で安全点検している。併せて子どもたちも確認しながら歩いているというような事例もございます。今後も、様々な危険等を考慮しながら子どもたちへの注意喚起、また地域の方からも情報を集めて対応していくということを確認していきたいと思っております。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。

それでは武輪委員さん、3つ目お願いします。

(武輪委員)

はい、16ページの非常食の実施状況についてです。

要望のところに、「保存状態によっては、ホッとするカレーが冷たいと不評な場合もあるため」と記載しておりますが、実際「ホッとするカレー」、「非常食」が実施された時に、我が子にもどうだったかなと聞いたことがあります。要望に書かれているように、「温かったらもっとおいしいのにな」言っていたことを覚えております。ただ、この「ホッとするカレー」の場合は、冷たいカレーを食べるところも一つの防災教育の勉強になるところであって、答弁内容にも、「普段の食事のありがたさを感じてもらうのがねらいである」とありますが、ここがとても大事なところで、普段こんなに、温かくて美味しい給食を食べているということや、地震等の災害が起きたときは水道や電気等のライフラインが止まって大変なことだということに結び付けて学んでいってほしいなと思っておりますので、「冷たいホッとするカレー」を食べる日は継続して行っていただきたいなと思っております。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。

そのほか、なにかご質問ございますか。

(油川委員)

私からは2点です。

まずは1点目、7ページから8ページにかけての、子どもの眼科検診についてですけれども、7ページのところでは「視力1.0未満の割合が小学生で13.8ポイント、中学生では8.6ポイント増加」、「小中学校ともに視力低下者が増加している状況にあり、さらには視力低下の始まる時期が低年齢化している傾向にある」、あと次の8ページ、「児童生徒と保護者が生活習慣の改善について一緒に考える取組を行っている。」とありますが、こういった現状に対しまして、私の小学校時代の話をしては大変恐縮ですけれども、当時吹上小学校に在籍をしていたときに、「遠方凝視」という取組をしていたのですけれども、現在は取組んで



いるのでしょうか。

(中里 学校教育課指導主事)

現在、小中学校でそのような取組を進めているということは聞いておりません。話し合い活動で、テレビなど、画面を見る時間をセーブしよう、外で遊ぶ時間を増やそう、ということが主流になっておりました。

(油川委員)

遠くの一点を意識を持ってじーっと見るという大変簡単なものですが、眼科医の皆様からご指導を仰ぎながらも、これがいいやりかたなのであれば、また現場でおやりいただけるといいのかな、と思いました。

あと、もう1点です。12ページです。給食残渣の処理についての質問をされていましたが、前回もお話申し上げました、西地区給食センターの皆様が、大変な努力を重ねて充実した内容のDVDを作ってくださいました。このたび公式サイトにアップされたようで、嬉しく思っています。内容を拝見しますと、就学前の子ども達、就学している子ども達、就学を修了した皆さん、年齢幅広く理解しやすい内容になっていましたので、ぜひ、作成しただけではなくて、教育長もおっしゃっているように活用するということが広く周知をしていただけたらと思います。ありがとうございます。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほかなにかございませんか。

[なし]

それでは次に入ります。「平成30年度「南部藩ゆかりの都市との交流事業」について」事務局からの説明をお願いいたします。

#### **【平成30年度「南部藩ゆかりの都市との交流事業」について】**

(西山 教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

#### **【八戸市内小中学校のブロック塀の状況について】**

(橋本 教育部次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(大庭委員)

ブロック塀の問題は説明のありましたとおり、多賀小学校はこれから対応するということですね。

質問ですけれども、もし緊急の場合は公民館等も避難場所になる可能性があるかと思いますが、公民館や教育委員会関係の縄文館、博物館等の施設についての危険箇所は現時点では認識されておりますでしょうか。

(橋本 教育部次長兼教育総務課長)

現在、市全体として市の公共施設の中に危険なブロック塀等があるかの照会が建築指導課から来ておりまして、それについては調査中でございます。

(大庭委員)

はい、わかりました。

(伊藤教育長)

そのほか、なにかございませんか。

(油川委員)

安全安心な社会を取り戻すことが急務というお話のようにすぐにこのように答えをいただきましてありがとうございました。どうぞ、よろしく願いいたします。以上です。

(伊藤教育長)

そのほか、ブロック塀に関して質問はございませんか。

[なし]

それでは、そのほかにも事務局から報告はございませんか。

### 【マイブック推進事業について】

(西山 教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(油川委員)

はい、私からは万引き防止対策の JUMP チーム、リトル JUMP チームの活動についてです。今月の 15 日に八戸警察署協議会が開催されて、私は協議会委員として出席をさせていただきました。その会議の中での報告事項で、平成 29 年度中の当署管内の少年による万引き検挙、補導人員は 44 名で前年に比べて減少し

たようです。JUMP チーム、リトル JUMP チームの呼び掛け運動の効果もあり減ったのではないのでしょうかという内容の説明がありました。この JUMP チーム、リトル JUMP チームの活動に敬意を表したいと思います。それと共に前年度より件数は減少しているものの発生件数が多いようです。今年度の目標、万引き認知件数を前年度より減少させるという目標を達成出来ますよう、どうぞ今年度も JUMP チーム、リトル JUMP チームのさらなる啓発活動の強化をどうぞよろしく願いいたします。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか、なにかございますか。

[なし]

## 閉 会

(伊藤教育長)

それではこれもちまして平成 30 年 6 月の教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後 2 時 40 分閉会)